

EHS&S研究センター セミナー2011

東日本大震災に学ぶ 都市の防災・危機管理

開催日時

11.29(火)
13:30~16:30

会場

大手町サンケイプラザ

入場無料
(事前登録制)

主催：株式会社NTTファシリティーズ総合研究所
後援：株式会社NTTファシリティーズ

詳しくは裏面をご覧ください。

■お申し込み

● **入場無料 (事前登録制)**

事前登録は、ホームページより受け付けております。
お席には限りがございますので、お早めにお申し込みください。

<http://www.ntt-fsoken.co.jp/>

ファシリティーズ総研

■お問い合わせ先

EHS&S研究センター セミナー 2011 事務局
(NTTファシリティーズ総合研究所内)
TEL: 03-5806-2118 (受付時間 10:00~16:00)
E-mail: info@ntt-fsoken.co.jp

■会場へのご案内

**大手町サンケイプラザ
311+312会議室**

〒100-0004
東京都千代田区大手町1-7-2
TEL:03-3273-2257~9
FAX:03-3270-3039

アクセス

- 地下鉄丸の内線、半蔵門線、千代田線、東西線、都営三田線「大手町駅」A4・E1出口直結
- JR「東京駅」丸の内北口より徒歩7分



拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より弊社に多大なご理解とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

株式会社NTTファシリティーズ総合研究所は、シンクタンク機能をもつEHS&S研究センターを組織し、ファシリティに関わる経営リスクマネジメントに主眼を置いたR&C(リサーチ&コンサルティング)に取り組んで参りました。

昨年に引き続き、R&Cを通して得られた知見を広く社会に情報発信するため、「EHS&S研究センター セミナー 2011」を開催いたします。

さる3月11日に起きた東日本大震災は未曾有の広域複合大災害をもたらしました。ファシリティを取り巻く課題は、巨大化・多様化・複雑化の一途をたどり、経営戦略に直結する影響を及ぼしてきています。社会の持続的発展を視野に入れた、環境(E)・保全(H)・安全(S)・セキュリティ(S)に関わる総合的なリスクマネジメントが今こそ求められています。

この度のセミナーでは、東日本大震災を教訓に来るべき次の大規模災害発生に備えることが喫緊の課題となっていることに鑑み、都市防災・危機管理の第一人者である名古屋大学大学院教授の福和伸夫氏をお招きし、「東日本大震災に学ぶ都市の防災・危機管理」をテーマに基調講演をいただきます。また、あわせて弊社からは「事業継続マネジメント」「電源リスクマネジメント」をテーマにご紹介いたします。

ご多忙とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。

なお、参加料は無料ですが、事前登録制となっております。お手数をお掛けいたしますが、本状のお申し込み要領をご確認のうえ、お手続きのほどお願い申し上げます。

13:00

● 受付開始

13:30

● 主催者ご挨拶

13:40

● 東日本大震災に学ぶ

都市の 防災・ 危機管理

東日本大震災時の我が国の様々な対応状況や、被災地の被害様相を分析すると共に、平安時代初期と現代とを対比することで、現代における災害切迫度について考え、併せて過去からの災害伝承や現代の科学的知見から、東日本大震災が想定外の事象であったかどうかについて考察します。

一方、中世以降の我が国の歴史地震と三大都市圏の形成過程を振り返ること、歴史と自然災害との思わぬ関係について触れていきます。

その上で、切迫する東海・東南海・南海地震や、首都直下地震で想定されている被害が、我が国の将来を左右することを述べ、その時の被害様相について解説しながら、破たんを回避するための、現代社会のあるべき姿について、一緒に考えてみたいと思います。

15:00

● 休憩

15:10

大規模災害と 事業継続マネジメント

大規模災害時における企業や機関の事業継続を如何に確保するかが問われています。東日本大震災を教訓として、事前対策、非常時行動、想定外対応、バックアップ、サプライチェーン戦略、ICT活用など、実効性のあるBCP策定、事業継続マネジメントのポイントを解説します。

15:50

大規模災害と 電源リスクマネジメント

商用電力の停電リスクが増す中、災害を考慮したより強靱なデータセンター電源システムを構築するため、電力エネルギー源、バックアップ手段、制御方法など幅広い検討が必要になっています。大震災の経験をもとにデータセンター電源システムに関わる電源リスクを洗い出し、その対処策を紹介いたします。



福和 伸夫 氏

名古屋大学 大学院教授

1979年名古屋大学工学部建築学科卒、1981年名古屋大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程前期課程修了。清水建設(株)を経て1991年名古屋大学工学部建築学科助教授。先端技術共同研究センター教授を経て2001年から現職。2010年から名古屋大学減災連携研究センター教授を兼務。専門は建築耐震工学、地震工学、地域防災。5月に設立された中央防災会議・東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会の委員のほか、総合科学技術会議・学術会議・内閣府・国土交通省・気象庁・消防庁・原子力安全委員会の専門委員なども務める。



赤木 久眞

工学博士
EHS&S研究センター
センター長



室山 誠一

工学博士
EHS&S研究センター
上級研究員